

各 位

本社所在地 東京都港区高輪 2-18-10
会 社 名 **レカムホールディングス株式会社**
代 表 者 名 代表取締役社長 伊藤 秀博
(コード番号: 3323 大証 JASDAQ S)
問合せ先 取締役常務執行役員経営管理本部長
川畑 大輔
(TEL: 03-6275-0700)
(URL <http://www.recomm.co.jp>)

特別利益および特別損失の計上ならびに
平成 23 年 9 月期通期業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 9 月期において、下記のとおり特別利益および特別損失を計上する必要が生じ、また、平成 23 年 9 月 16 日に公表した平成 23 年 9 月期通期の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 特別利益および特別損失の計上について

1. 特別利益の内容

平成 23 年 9 月期 (累計)	特別利益の総額	49,771 千円
(その主なもの)	事業譲渡益等	32,500 千円
	預り金返還免除益	4,732 千円
	受取和解金	4,613 千円
	関係会社株式売却益	5,387 千円
	その他	2,538 千円

2. 特別損失の内容

平成 23 年 9 月期 (累計)	特別損失の総額	62,488 千円
(その主なもの)	損害賠償金	11,591 千円
	債務保証損失	25,495 千円
	貸倒引当金繰入額	11,054 千円
	債務保証損失引当金繰入額	10,856 千円
	その他	3,490 千円

3. 計上に至った経緯

- ①事業譲渡益等につきましては、資本業務提携契約を締結したスターティア株式会社に対して、当社子会社のレカム株式会社（以下、「レカム」といいます。）の福岡支店を事業譲渡したこと、株式会社 No.1 に対して、一部顧客に対する営業権を譲渡したことにより発生したものであります。
- ②預り金返還免除益につきましては、当社子会社のレカムの過去の販売代理店からの預り保証金について、返還先が不明等の事由により当該預り保証金を返還できないことから免除益として計上したものであります。
- ③受取和解金につきましては、当社子会社のレカムの販売代理店との訴訟和解金であります。
- ④関係会社株式売却益につきましては、当社子会社の WizBiz 株式会社の株式の一部を株式会社光通信へ譲渡した際の売却益になります。

- ⑤損害賠償金につきましては、当社子会社のレカムが主にリース会社に対して、販売先のリース契約の解約等により支払った損害賠償金であります。
- ⑥債務保証損失につきましては、当社子会社のレカムが主にリース会社に対して、リース料金の支払が不履行となった顧客に代わり債務履行したものであります。
- ⑦貸倒引当金繰入額につきましては、当社子会社のレカムが割賦販売契約による売掛金を貸倒処理したことにより発生したものであります。
- ⑧債務保証損失引当金繰入額につきましては、当社子会社のレカムのリース会社等に対する債務保証額のうち、将来の損失発生に備えて引当金を計上したものであります。

II. 業績予想と実績との差異

1. 平成 23 年 9 月期（累計）連結業績予想と実績の差異 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,035	20	10	2	8円96銭
今回実績(B)	4,990	23	8	14	67円43銭
増減額(B-A)	-45	3	△2	12	—
増減率(%)	△0.9	15.0	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 9 月期)	5,469	1	△20	△316	△1,418円18銭

2. 平成 23 年 9 月期（累計）個別業績予想と実績の差異 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	239	△13	△12	△13	△58円24銭
今回実績(B)	239	△12	△10	16	52円64銭
増減額(B-A)	0	1	2	29	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 9 月期)	252	△20	△17	△549	△2,460円02銭

3. 差異の生じた理由

営業利益および当期純利益が前回予想を上回ったのは、上記「I. 特別利益および特別損失の計上について」においてご説明いたしました特別利益および特別損失の発生、ならびに期末における情報通信機器の販売が予想を上回ったこと等によるものであります。

以上